

編集後記

ここに『心理相談研究第16号』をお届けできますことを大変嬉しく存じます。今号にも、相談員が懸命に取り組んだ事例研究とそれに対するコメンテーターの先生方大変示唆に富んだご指摘が掲載されました。コメンテーターの先生方、そしてスーパーバイザーの先生方からのご助言を、彼女達なりに吸収・咀嚼し、やがて自分のスタイルを作り上げていってくれるだろうと期待しております。私ども神戸女学院大学のスタッフが日々の指導に当たることができているのも、多くの先生方のご協力あってのことです。厚く御礼申し上げます。

私ことですが、2014年より本学に赴任し、心理相談室の運営に微力ながら携わっております。長年精神医療の場で臨床に携わっていましたが、特に専門の精神分析臨床では、これまでも臨床心理士の方々と一緒に仕事をする機会が多々ありました。心理相談室のカンファレンスでは、他の先生方に良い刺激を受けながら、院生や研修生の指導に当たっております。

本号掲載の事例研究論文や各種報告を眺めてみますと、親子関係が大変重要なテーマであることを今更ながら強く感じます。本相談室では、親子関係というこの人類普遍のテーマに多面的なアプローチを行っております。少しでも多くの皆様のお役に立てるような場として本相談室がさらに成長していけるように努めて参る所存です。そのためには皆様のご協力・ご指導が是非とも必要です。今後も変わらぬご支援をよろしくお願い申し上げます。

(吾妻 壮)

編集委員

石谷 真一・吾妻 壮・小林 哲郎・國吉 知子・須藤 春佳・鶴田 英也
児玉 佳子・桑山久仁子・高橋 裕理・石井 凜蘭・香西 恵実・中山貴久子

心理相談研究 第16号

2015年3月31日 発行

発行 神戸女学院大学大学院人間科学研究科心理相談室

〒662-8505 西宮市岡田山4-1

TEL/FAX 0798-51-8554

印刷 尼崎印刷株式会社

〒661-0975 尼崎市下坂部3丁目9-20

TEL 06-6494-1122

FAX 06-6495-2360